衆議院（小選挙区選出）議員選挙公報（東京都第23区）

東京都選挙管理委員会

この選挙公報の選挙区（東京都第23区）は、

町田市、多摩市です。

投票日12月14日（日）午前7時から午後8時まで

投票方法「小選挙区選出議員選挙」と「比例代表選出議員選挙」があります。

◇小選挙区選出議員選挙 → 「候補者氏名」を記載

◇比例代表選出議員選挙 → 「政党等の名称」を記載

仕事やレジャーなどで投票日に行けない方は、期日前投票ができます。

- **期日前投票期間**　12月3日（水）～12月13日（土）　午前8時30分から午後8時まで
- **期日前投票所**　お住まいの区・市役所、町・村役場やその出張所など

（期日前投票所によって、投票できる期間等が異なる場合がありますので、区市町村の選挙管理委員会におたずねください。）

（この選挙公報は、公職選挙法第169条第２項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。）

衆議院（小選挙区選出）議員選挙公報（東京都第23区）

東京都選挙管理委員会

自民党公認

小倉まさのぶ

33歳

小倉まさのぶ・プロフィール

1981年5月30日：多摩市生まれ、町田市在住
2004年 3月：東京大学法学部卒業
　　4月：日本銀行入行
2009年7月：オックスフォード大学院卒
2012年12月：衆議院議員総選挙にて初当選

主な役職

自民党
- 内閣部会　副部会長
- 金融問題調査会　事務局次長
- 外交・経済連携本部 通商交渉・総合処理対策委員会 事務局長
- 無駄撲滅PT　第3グループ主査（財務・文科・農水）
- 青年局次長
- 国際局次長
- 環境関係団体委員会　顧委員長
- 国際保険医療戦略特命委員会幹事

国会
- 衆議院財務金融委員会委員
- 衆議院環境委員会委員
- 衆議院消費者問題に関する特別委員会委員

小倉まさのぶ未来への約束　経済・社会保障・教育・エネルギー…今私達ができること

未来への約束1　アベノミクス第2章。日本経済、再点検!

アベノミクスの効果を加速させる

日本経済を苦しめてきたデフレ不況から脱却するため、大胆な金融緩和や機動的な財政源泉を実施しました。株価は上昇し、企業収益は大幅に回復、雇用や所得も改善する、経済の好循環をさらに加速させます。

他方で、輸入価格の上昇で中小企業の利益が減少しています。雇用・所得増加の恩恵を受けていない年金生活者等には、消費税引き上げによる生活費の増加が直撃しています。これからは、円安対策・中小企業対策・生活者支援に全力で取り組みます。

経済指標で見るアベノミクス

経済指標	内閣発足前	直近	変化幅
1.株価・為替			
日経平均株価	8,661円（2012年1月13日）	17,392円（2014年11月14日）	8,731円増（101%増）
2.企業活動			
企業収益	12.7兆円（2012年10-12月期）	15.7兆円（2014年4-6月期）	3.0兆円増（23.6%増）
3.雇用情勢			
有効求人倍率	0.82（2012年1月）	1.09（2014年6月）	0.27pt増
4.賃金			
所定内給与（月給）	30万3500円（2012年1月）	30万5900円（2014年6月）	2,400円増（0.8%増）

未来への約束2　しがらみのない新人議員だからこそできる、自民党・国会改革

- 不必要な公共事業や補助金は許さない。
- 大企業に甘いと言われる自民党ではいけません。大企業には徹底した競争を促し、その分、従業員にはしっかりしたセーフティーネットを築きます。

未来への約束3　子供も国の宝、老人も国の宝

- 日本の未来を支える若者を大事に育てます。
- ご年配の方にも、安心と幸せを感じてもらいながら、一緒に日本を支えてもらいます。

未来への約束4　最も大切なのは日本が平和であり続けることです

- 中国の軍拡や北朝鮮の核・ミサイル問題など国際情勢は緊張感が高まる一方です。こうした中、日本の平和を守るためには、弱腰でも無い、挑発的でも無い、現実的かつ粘り強い外交・安全保障政策をゆ心がけます。

未来への約束5　環境大国ニッポン、子供達に綺麗な地球を残します

- 地球温暖化やPM2.5の問題など環境保護の問題はもはや一国だけでは解決できません。来年のCOP21で地球温暖化対策の大幅な前進を実現できるよう、議員外交に努めます。また、環境汚染大国となってしまった中国に対して、改善を促します。

未来への約束6　好きです! 町田・多摩

- 町田を愛します! 町田が住み易い街であり続けるために。
- 多摩都市モノレールおよび小田急多摩線の延伸、横浜線と東急田園都市線の接続を実現し、市内の移動に車を使わない町田市にします。
- 緑と人が共存する街TAMA
- ニュータウン再生のためのUR法改正。

小倉まさのぶの2年間の実績

実績　日銀出身! 経済金融分野の即戦力として活動

中小企業が倒産しても、経営者とその家族が住む家と再起を期すための生活資金を確保できる新たな経営者保証ガイドラインの策定を実現しました。

金融庁の検査方針を大きく改め、銀行が目利き力を高めて、地域の経済活動に貢献することを支援する検査へと方針転換させました。

実績　子供達の笑顔を守るため、防災・環境問題に全力投球

首都直下地震対策に特化した法律を成立させました。

住宅の耐震化や家具の固定化等を推進し、倒壊死や延焼を防止し、被害を最小限に食い止める取り組みが始まりました。

実績　ふるさと町田多摩を創生

多摩市が長年要望してきた都市計画税の運用弾力化を、与元市議団とともに国土交通省に要望し実現しました。

新しい町田市の名産品「まちだシルクメロン」を、総務省の「地域経済循環創造事業」に認定しました。

自民党　比例代表も自民党へ

維新の党公認

伊藤しゅんすけ

35歳

私達の根幹たる使命は「この国のかたち」を変えることです。2040年には896市町村が消滅するという衝撃的報道が最近なされました。

中央集権官僚主導による国家運営が機能した時代はすでに過ぎ去りました。

「既存権の打破」によりこれまでの既政政党では出来なかった税財源も権限も大胆に地方に移譲して税のあり方を変えることから地方分権を進め、日本再生を目指します。

新たな時代の羅針盤たる改革政党として。

既成政党には出来ないことがある。

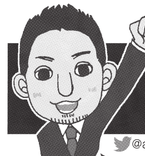
身を切る改革。実のある改革。

批判を恐れず、選挙を恐れず
ガンガンやるッ、改革勢力ッ

安倍政権	維新の党
① 増税（二年前に自民・民主・公明で増税を決定）国会議員の歳費も公務員給与も引き上げてしまった。	① 国民に負担を課す前に政治が身を切る改革を。議員定数の３割削減。文書通信交通滞在費の使途公開。
② 安倍政権は原発推進（原発再稼働）。国内でも稼働していない原発を外国へ輸出推進	② 原発再稼働反対。海外輸出も反対。再生可能エネルギーは環境を含め成長戦略の本丸。
③ これまで同様、中央集権・官僚主導で東京一極集中。	③ 地方交付税交付金廃止。消費税はすべて地方に移譲。権限も財源も地方へ。道州制で約6兆円の財源を生む。
④ 既に破たんしている現行年金制度（賦課方式）に増税。	④ 持続可能な積み立てる年金制度へ移行。

【伊藤しゅんすけプロフィール】
●東京都町田市生まれ●高士幼稚園卒／桐蔭学園小・中・高卒／中央大学卒、北京大学留学／会社起業・経営／維新政治塾一期生

『伊藤くんを推薦します』
維新の党　共同代表　橋下　徹
共同代表　江田憲司
元ベンチャラーズ・駐日大使アシュラフ



安倍政権の暴走ストップ、政治を変える

たたかうイクメン

34歳

@akahigepapa

日本共産党は、昨年の都議選・参院選で躍進。その結果、国政では、集団的自衛権や秘密保護法で論戦をリード。「ブラック企業」規制法案を提案し、厚労省も「規制」に乗り出す変化がうまれました。都政でも、認可保育所や特養ホームの大幅増設に道を開きました。日本共産党が伸びれば、必ず政治は変わります。

プロフィール
1980年生まれ。12年衆院選東京23区から立候補。現在、党町田地区副委員長。「さようなら原発・町田の会」事務局員。「戦争はコメン!! まちだ市民デモ」実行委員。家族は、妻と2女。

闘争宣言

闘争宣言1　子どもの未来を奪う戦争、原発とたたかう

安倍政権は、「海外で戦争する国づくり」や原発の再稼働を強行にすすめています。戦争も、原発もない日本を子どもたちに手渡します。

- 集団的自衛権行使を容認した閣議決定は「撤回」を。憲法9条を生かした外交力で平和と安定を築く。
- 原発再稼働反対、「原発ゼロ」――すべての原発が止まったまま廃炉にする。

闘争宣言2　くらし・営業・雇用の消費税増税とたたかう

自民、公明、民主の3党合意に基づいて消費税が8%に。くらしも、営業も大変になり、子育て世代にも直撃です。

- 消費税10%は、「先送り」でなく、キッパリ中止を。

財源は

- 富裕層と大企業に力に応じた負担を。
- 大企業が溜め込んでいる285兆円の「内部留保」を活用して国民所得を増やして税収増を。

闘争宣言3　若者を使いつぶす雇用破壊とたたかう

「生涯ハケン」「残業代ゼロ制度」をすすめる安倍政権。雇用破壊を許さず、人間らしく働けるルールをつくります。

- 「派遣法」改悪を許さず、非正規から正規への流れをつくる抜本改正を。
- ブラック企業」も過労死もなくす。
- 中小企業支援と一体に最低賃金を抜本的に引き上げる。

闘争宣言4　金権腐敗とたたかう

- 「政治とカネ」「金権腐敗」の根源、政党助成金の廃止、企業・団体献金の禁止を。

比例代表は日本共産党へ

民主党公認

くしぶち万里

安倍政権はこの2年、ことごとく国会での議論を軽視し、国民不在の政治をおし進めてきました。アベノミクスの幻想で株価こそ上がったものの、直近のGDPは2期連続マイナス、子どもの貧困率は過去最悪、実質賃金は15カ月連続減と、実体経済の悪化は明らかです。

人口減少・少子高齢化が進む今、若者に希望を与え、女性が働きやすい環境を整え、分厚い中間層の生活を充実し安定させることが、私くしぶち万里の仕事です。「くらしと平和はゆずれない!」人と人が支えあい幸せを実感できる、ともに生きる日本をつくります。

くらしと平和はゆずれない!

くしぶち万里プロフィール

1967年 群馬県生まれ　町田市本町田在住
1991年 立教大学社会学部卒業

国際NGOピースボート職員
（のちに事務局長～2007年）
世界中の貧困の現場を見れば、その土壌には戦争があります。戦争は一部の強者を生み、社会に格差の溝を刻みます。たとえどんな大義が唱られようと、私は戦争を全面的に否定します。

2009年～2012年　衆議院議員
　自然エネルギー促進法などを制定
　首都直下地震に備えて各省庁の横断会議を設置
2013年～現在
　NPO法人町田まちづくり研究所まいんど理事長

くしぶち万里　検索
www.kushibuchi-mari.com

The Democratic Party of Japan 民主党　比例区も民主党へ

くしぶち万里のさらなる取組

再稼働なし。原発ゼロへ。【環境・エネルギー】
自然エネルギー産業を育成、古くなった原発から廃炉に。核燃料廃棄物の処理の問題を先送りしません。

首都直下型地震に備える【復興・防災】
防災対策は分散型で、多摩地域に広域防災拠点や首都バックアップ拠点づくりをめざします。

くしぶち万里　5つの約束

介護する人・介護される人を救いたい【社会保障】
超高齢化社会にも安心して暮らせる環境をつくります。障がい者権利条約の批准にもつく地域社会を実現します。

子どもと子育て世代を救いたい【教育・女性政策】
子どもの誕生・育ち・学びを根幹にすえた国家戦略をつくります。

非正規雇用者や中小企業を救いたい【経済・雇用】
法人減税より社会保険料の事業主負担を軽減します。「同一労働・同一賃金」外需主導から内需主導の経済へ。

いのちを救いたい【外交・安全保障】
専守防衛と平和主義を堅持し、戦略的な外交をすすめます。「盾」をスリムに。「身を切る改革」を断行。地域のことは地域で。国民が決める、地方分権の改革を推進します。

地域コミュニティを救いたい【統治改革・行政改革】

民主党公認

くしぶち万里

（この選挙公報は、公職選挙法第169条第２項の規定により、候補者から提出された原稿をそのまま写真製版のうえ掲載したものです。）